

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公開番号】特開2018-191660(P2018-191660A)

【公開日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2018-047

【出願番号】特願2017-95182(P2017-95182)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能であり、立体画像を表示可能な遊技機であって、

前記立体画像を成す右目用画像と左目用画像とを水平方向に交互に並べて表示する表示体と、該表示体の前方に設けられ、遊技者の左目による前記右目用画像の視認を阻止するとともに遊技者の右目による前記左目用画像の視認を阻止するための視差形成体と、を有する立体画像表示手段と、

前記立体画像の表示制御を行う表示制御手段と、

非立体画像の画像データと前記立体画像の画像データとを記憶可能な画像データ記憶手段と、

を備え、

前記画像データ記憶手段に記憶されている前記立体画像の画像データは、水平方向に関するデータは圧縮されていないが、水平方向に関しないデータは圧縮されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の請求項1に記載の遊技機は、

遊技を行うことが可能であり、立体画像を表示可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、

前記立体画像を成す右目用画像と左目用画像とを水平方向に交互に並べて表示する表示体(例えば、画像用液晶パネル9a)と、該表示体の前方に設けられ、遊技者の左目による前記右目用画像の視認を阻止するとともに遊技者の右目による前記左目用画像の視認を阻止するための視差形成体(例えば、レンティキュラシート9b)と、を有する立体画像表示手段(例えば、演出表示装置9)と、

前記立体画像の表示制御を行う表示制御手段(例えば、演出制御用CPU101やVD P109)と、

非立体画像の画像データと前記立体画像の画像データとを記憶可能な画像データ記憶手段（例えば、画像データROM110）と、  
を備え、

前記画像データ記憶手段に記憶されている前記立体画像の画像データは、水平方向に関するデータ（例えば、X軸方向（水平方向）の表示アドレスデータ）は圧縮されていないが、水平方向に関しないデータ（例えば、Y軸方向（垂直方向）の表示アドレスデータ）は圧縮されている

ことを特徴としている。

この特徴によれば、画像データの水平方向に関するデータは圧縮されていないので、データの復元によって立体画像の画像品質が低下してしまうことを防ぐことができる。